

第1回定例会一般質問項目

平成25年3月14日(木)

午前9:00～

質問 順番	議員名	項 目
1	鏑本 規之 (一問一答)	<p>1 樽見鉄道運営維持補助金について</p> <p>(1) 大垣市の負担額の減額について、前々から大垣市より打診があったと聞いているが、議会に対して何らかの説明がなされたのか。</p> <p>(2) 大垣市のみが減額となった原因は。</p> <p>(3) 樽見鉄道の職員たちの努力により経営が改善されつつあるが、補助金を減額すれば職員のやる気を削ぐ結果とならないか。</p> <p>2 (株)海龍リバーサイドモールの固定資産税及び入湯税約1億円の未払い金の回収について</p> <p>(1) 今の状況について</p> <p>(2) 未回収となっている1億円近い固定資産税等を回収するため、何か手立てをお考えか。</p> <p>(3) 未回収の固定資産税等を回収するため、競売等を視野に入れた回収方法を検討すべきではないか。</p> <p>3 ゆるキャラ「もとまる」くんについて 市としてどのようなルールの下で「もとまる」を活用しようと考えているのか。</p>
2	黒田 芳弘 (一問一答)	<p>1 寄附を受けた400haの山林の活用について</p> <p>(1) どのような目的や構想をもって寄附を受けたのか。</p> <p>(2) 長期にわたって、放置されている理由、原因は何か。</p> <p>(3) 今後、この山林は具体的にどうするのか。</p> <p>2 政権交代がもたらす予算への影響について</p> <p>(1) 新政権が平成24年度予算において、創設した計上額1兆3,980億円の「地域の元気臨時交付金」について、具体的な内容や本市の充当事業、活用方法は。</p> <p>(2) 2013年度政府予算では、6年ぶりに地方交付税の配分額が約17兆円と前年度比4千億円近く減額されたが、本市への影響は。</p> <p>(3) 今回の地方交付税の減額は、地方公務員の給与費を減額し、これと引き換えに削減分を地方財政計画の歳出に計上する内容であるが、これに対する市長の見解と本市の対応は。</p> <p>(4) 新政権が積極的に取り組む大胆な経済政策をどううまく活用し、市域経済の活性へつなげるのか、また、原発事故が影響する電力不足やいじめや体罰など新たな問題を抱える教育問題、少子化と高齢化が同居する社会保障問題などに対し、藤原市政はどう対応し反映されるのか市民の大きな期待と責任が寄せられている中、新年度予算及び事業にあたっての重点や特徴について</p>
3	船渡 洋子 (一問一答)	<p>1 生きがいとやすらぎのあるまちづくりについて</p> <p>(1) 認知症300万人時代を迎え、認知症サポーター養成研修は行われているのか。また、どのような形で行われていますか。</p> <p>(2) 認知症予防の取り組みは。</p> <p>(3) 「介護マーク」の普及を</p> <p>2 アレルギー対策について</p> <p>(1) 給食で食物アレルギーの女子児童が亡くなった問題があったが、本市でのアレルギーを持つ児童の実態は。</p> <p>(2) エピペン使用の周知徹底は。</p>

質問 順番	議員名	項目
4	臼井 悦子 (一問一答)	1 古田織部展示館について (1) 市の文化発信の施設でもあり、観光資源でもある展示館の入館料の無料化について (2) 市として、展示館の利用・活用について、今後の支援対策は。 2 市職員の研修制度について (1) 現在の研修内容及び計画について (2) 今後の取り組みは。
5	高田 文一 (一問一答)	1 地方公務員の給与引き下げについて (1) 地方公務員の給与削減を前提とした地方交付税の減額に対する市としての考え方と方向性は。 (2) 地方交付税の削減額は。 2 本巢市地域防災計画等の作成について 国・県や各機関などの情報提供や公表を市の地域防災計画にどのように取り入れられたか。 (1) 南海トラフ地震が東日本大震災と同じ「M9」の地震が発生した場合は。 ・県内で200人死亡、8200棟全壊 ・本巢市→6弱(2003年推計 5強) (2) 自治体の防災計画の目安に、原子力災害対策重点区域を原発から30km圏に拡大する災害対策指針を決めたが。 (3) 岐阜県が4つの内陸型地震を見込んで、独自に実施した被害想定調査の結果を公表したが。 (特に養老-桑名-四日市断層帯地震) (4) 洪水ハザードマップと地震防災マップの作成予定は。 3 ぎふ清流大会の気運を継続することについて 障がい者スポーツへの関心や参加意欲が高まったのを好機ととらえ、スポーツを通じて障害者の社会参加を進める市独自の計画は。
6	高橋 勝美 (一問一答)	1 原発災害対策と空間放射線量を測る簡易サーベイメーター測定器について (1) 放射性物質への対策・内部被爆に対処する放射性ヨウ素剤への対策は。 (2) 空間放射線量を測る簡易サーベイメーター測定器の設置は。 2 民主党政権が創設した一括交付金を政権交代で政府は廃止する方針を決め、自治体の要望や事業計画の提出を受けて補助金を配分するひも付き補助金を復活することについて 平成25年度の本市のひも付き補助金は何を申請されていますか。

質問 順番	議員名	項目
1	安藤 重夫 (一問一答)	<p>1 市内の廃屋について</p> <p>(1) 国道157号線を北上すると廃屋が目につき、景観上よくありませんが、市の対応は。</p> <p>(2) 解体撤去し更地になると税制上の問題は。</p> <p>2 本巣市特産の富有柿や梨生産農家について</p> <p>(1) 耕作放棄園に対応する行政指導は。</p> <p>(2) 一昨年より病害虫である落葉病、痘素病、カメ虫が大発生していますが、何らかの対応策が必要と考えるが。</p> <p>3 公共工事における入札制度について</p> <p>(1) 同額入札における現在のクジの方法は。</p> <p>(2) クジ方法における可視化への見通しは。</p>
2	道下 和茂 (一問一答)	<p>1 広葉樹二次林の育成について</p> <p>(1) 市内で広葉樹二次林による森林育成の整備が必要な時期を迎えていますが、広葉樹林の優良木育成は今後どのようにお考えか。</p> <p>(2) 森林の皆伐の届け出で、受付時にどのような指導を行っていますか。</p> <p>2 花粉症対策として、市内の杉の植林・植栽には無花粉杉を奨励することについて 市内での杉の植林・植栽には無花粉杉の奨励を行っていく考えは。また、県単位での取り組みを強く要望されたい。</p> <p>3 本巣市の災害応援協定・相互応援協定について</p> <p>(1) 本市の「災害時応援協定」や「相互応援協定」は、どのような協定がどれだけ締結されていますか。</p> <p>(2) 3.11の教訓から、広域災害に対応するための遠隔地や複数の市町村で重層的に支援しあう自治体間の「相互応援協定」の必要性をどのようにお考えか。</p> <p>(3) 本市が参加する桜サミットや淡墨桜の苗木植樹自治体、過去に震災で被害を受けた自治体等との複数の自治体で重層的な締結の考えは。</p> <p>4 生涯学習施設ながみねと長嶺投票所について</p> <p>(1) 昨年12月、地元で施設活用を検討する会議が行われたが、どのようなことが検討され、今後どのような工程で進められ、結論をいつ頃までに出されますか。</p> <p>(2) 現在の投票所施設を投票所としてどのようにお考えですか。また、この投票所の今後の考えは。</p> <p>(3) 木造北舎に仮設で最小限の電源・トイレ設備を設け、田舎暮らし体験事業や投票所として使用できないか。</p>
3	若原 敏郎 (一問一答)	<p>1 校舎の長寿命化について</p> <p>(1) 非構造部材の耐震化とはどの程度の改修をさすのか。</p> <p>(2) 完了後の校舎の長寿命化はどこを補強または改築するのか。</p> <p>(3) 新校舎の制限はされてくるのか。</p> <p>2 防犯対策の強化・充実について</p> <p>(1) 主要道路に防犯カメラを設置し、抑止力を働かせては。</p> <p>(2) 防災無線のさらなる活用により、地域別に情報提供を図ったらどうか。</p> <p>3 農業経営基盤の強化について</p> <p>(1) 本巣市の農業の現況は。 (農家数、耕地面積、就業人口・平均年齢等)</p> <p>(2) H25年度の農業支援等の事業での展望は。</p>

質問 順番	議員名	項目
4	鵜飼 静雄 (一問一答)	<p>1 災害時の避難について</p> <p>(1) 一時的な避難場所（建物）が実際には避難所に準ずる役割を果たさざるを得ないのではないか。</p> <p>(2) 避難場所（建物）の耐震状況はどうか。</p> <p>(3) 市としての取り組み、対応はどうか。</p> <p>2 就学援助制度について</p> <p>(1) 就学援助制度そのものの周知はどのように行っているのか。</p> <p>(2) 新入学にあたって必要な準備に要する費用があり、その分は初回の支給がされるまで立て替えということになります。仮認定制度を導入し、4月支給を考えてはどうか。</p> <p>3 生活保護基準の引き下げの影響について</p> <p>(1) 市民に直接影響する制度は。</p> <p>(2) 市民の福祉と暮らしを守る地方自治体の役割から、基準の引き下げには反対すべきだと考えるが、市長の見解を伺います。</p> <p>4 船来山について</p> <p>新年度予算で船来山古墳群詳細分布調査事業が生まれ、今後本市の地域資源（観光資源）とすることができるとあるが、少なくとも船来山を散策することができるようにすることも同時に求められていると思うが、船来山の整備についての方針をうかがいます。</p>
5	江崎 達己 (一括方式)	<p>1 本巣市制10周年記念について</p> <p>市制10周年記念事業の今後の取り組み等は。</p> <p>2 公式マスコットキャラクター「もとまる」について</p> <p>マスコットキャラクターの利活用はどのように、また、要綱並びに要領等どのように定めているのか。</p> <p>3 市民サービスの向上を図る取り組みについて</p> <p>市の大封筒の効果的な活用による市民サービスを図る取り組みは。（大封筒を切り取り、中封筒として活用を図る）</p>